

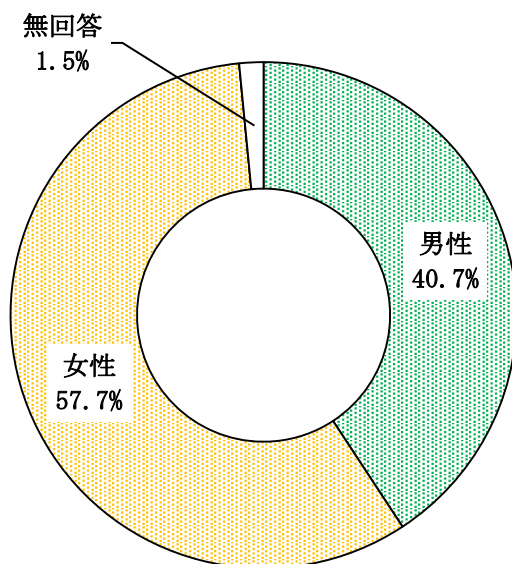
第3次徳島市環境基本計画策定のための
アンケート調査結果報告書
(市民アンケート)

市民アンケート調査結果

回答者の属性

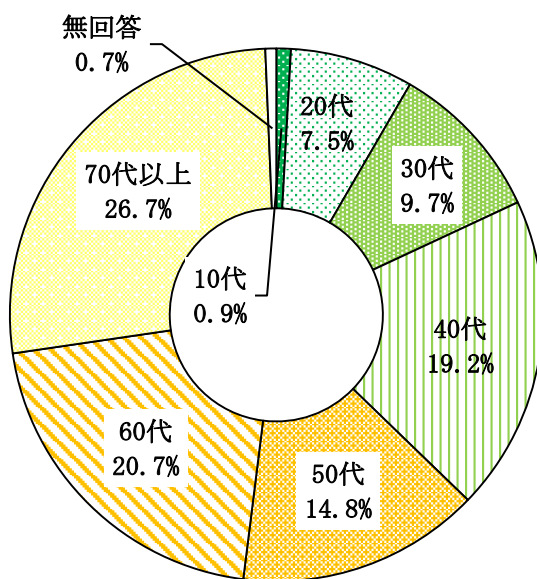
問1 性別

回答者数は454人で、男性40.7%、女性57.7%となっています。



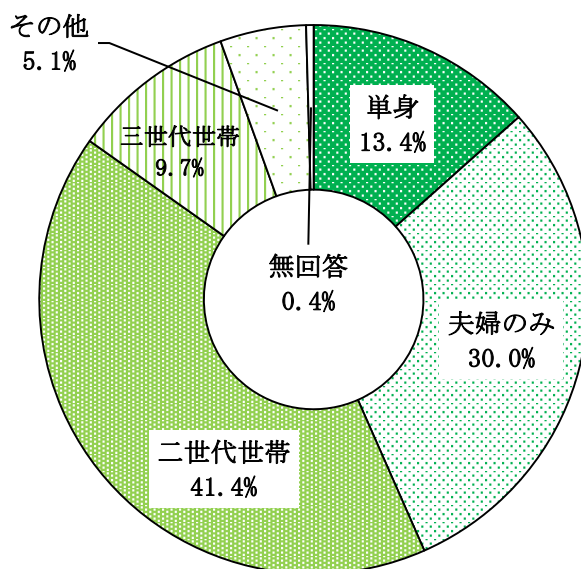
問2 年齢

年齢別では70代以上が26.7%と最も多く、次いで60代が20.7%となっています。



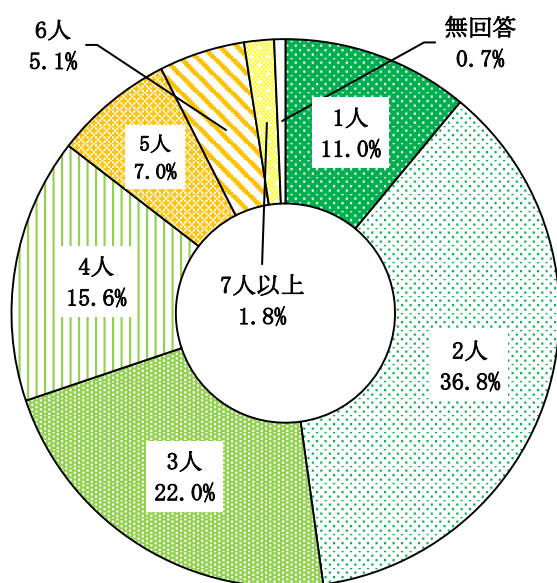
問3 家族構成

家族構成は二世世代世帯が41.4%と最も多く、次いで夫婦のみが30.0%となっています。



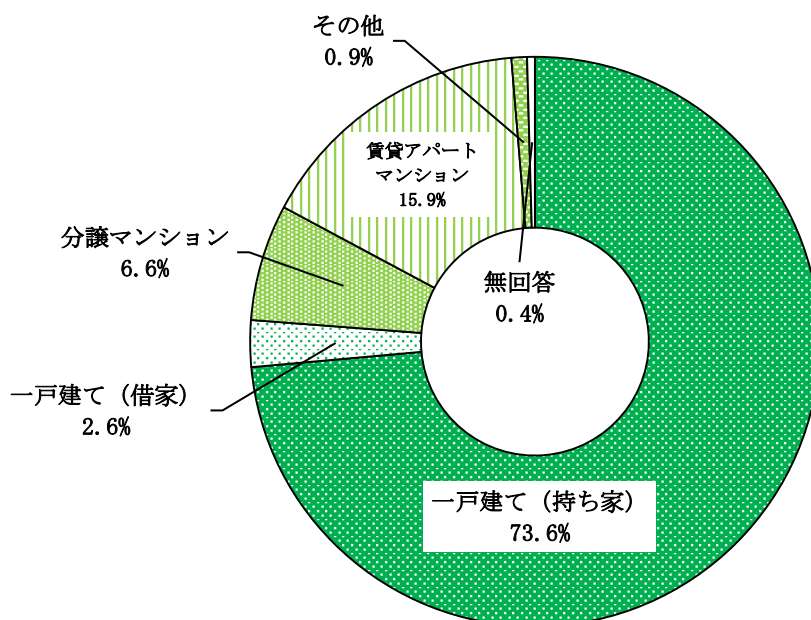
問4 世帯人数

世帯人数は2人が36.8%と最も多く、次いで3人が22.0%となっています。



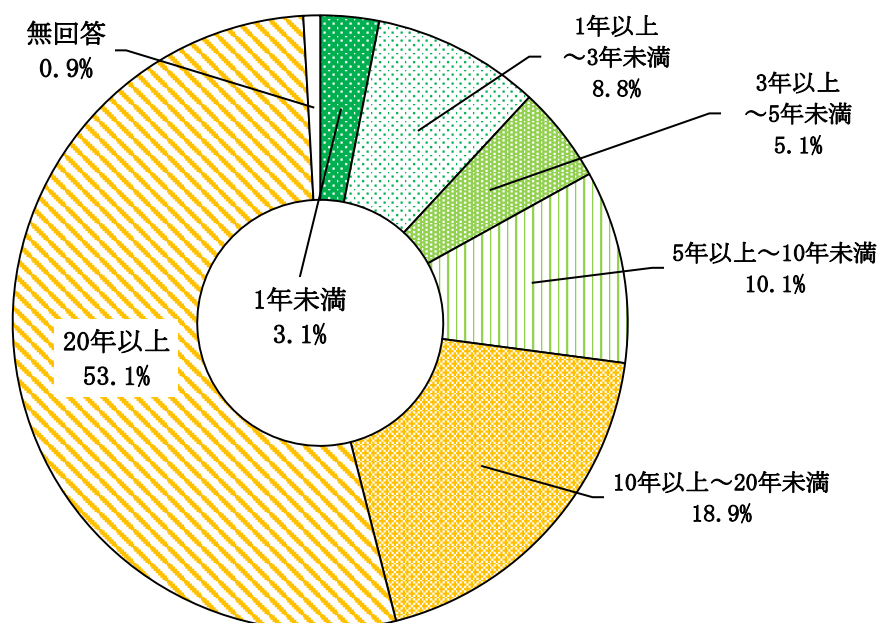
問5 住居

住居は戸建て（持ち家）が73.6%と最も多く、次いで賃貸アパート・マンションが15.9%となっています。



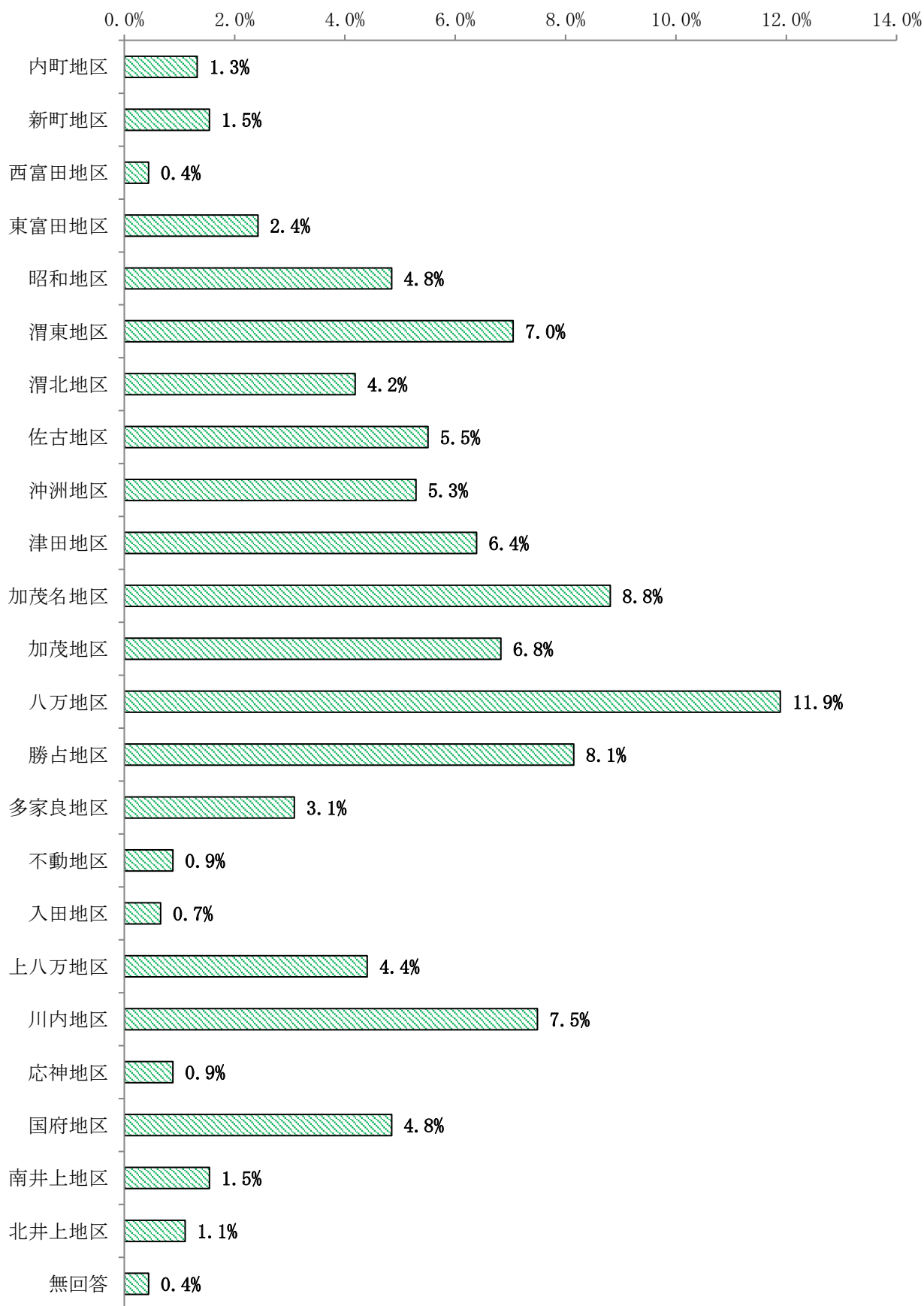
問6 居住年数

居住年数は20年以上が53.1%と最も多く、次いで、10年以上～20年未満が18.9%となっています。



問7 居住地区

居住地区は八万地区が11.9%と最も多く、次いで、加茂名地区が8.8%となっています。



問 8 大切にしたい、または残しておきたい環境、場所、風景、風習

自然・風景について回答した人が多く、中でも「吉野川」と「眉山」が突出しています。また、「阿波踊り」と回答した人も比較的多くなっています。

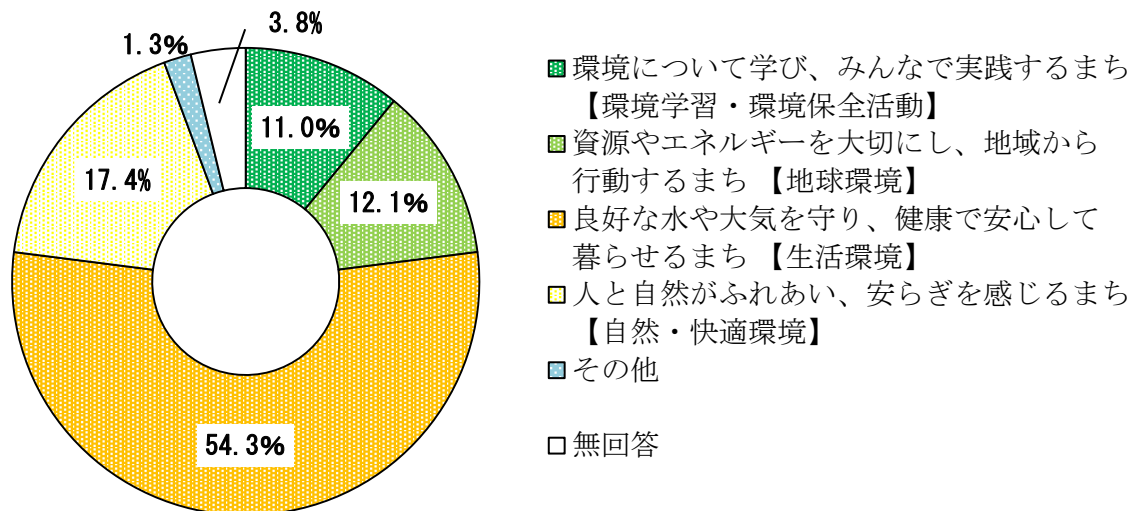
自然・風景	公園	祭り・伝統行事	建物	レクリエーション	その他
吉野川 96	徳島中央公園 11	阿波踊り 77	徳島駅前（駅ビル、そごう） 5	あずり越（トレッキングコース） 1	その他 15
眉山 94	文化の森 2	地域の祭り 18	徳島城 3	ラジオ体操（徳島城公園） 1	
新町川 17	とくしま動物園 1	その他 8	一宮城 2		
河川 13	その他 8		木工会館 2		
城山 10			その他 12		
園瀬川 9					
勝浦川 8					
鮎喰川 7					
大神子周辺（海・山） 4					
第十堰 4					
田園 4					
海 3					
津田山 3					
小松海岸 2					
その他 58					
徳島県が誇る1級河川 豊かな自然 徳島の象徴 豊富な水 市内が一望 身近な自然	桜がきれい 憩いの場所	他県に誇れるイベント 伝統 地域のつながり 夏の楽しみ	歴史的遺産 徳島の顔、玄関	きれいに整備されている	人とのつながり

徳島市の将来の環境について

問 10 将来の徳島市の環境の実現に向けて、どの分野に重点を置くべきかについて

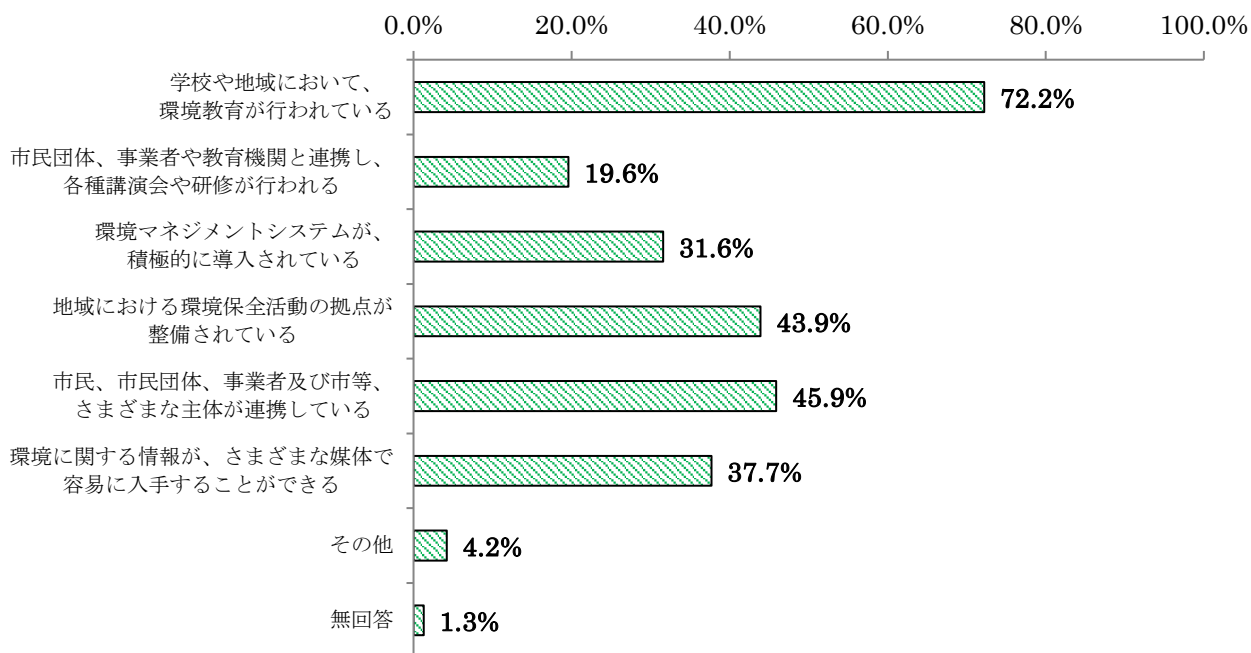
市民が望んでいる分野については、「良好な水や大気を守り、健康で安心して暮らせる町【生活環境】」と回答した人が、54.3%と最も多くなっています。

他の回答については、「人と自然がふれあい、安らぎを感じるまち【自然・快適環境】」が17.4%、「資源やエネルギーを大切にし、地域から行動するまち【地球環境】」が12.1%、「環境について学び、みんなで実践するまち【環境学習・環境保全活動】」が11.0%となっています。



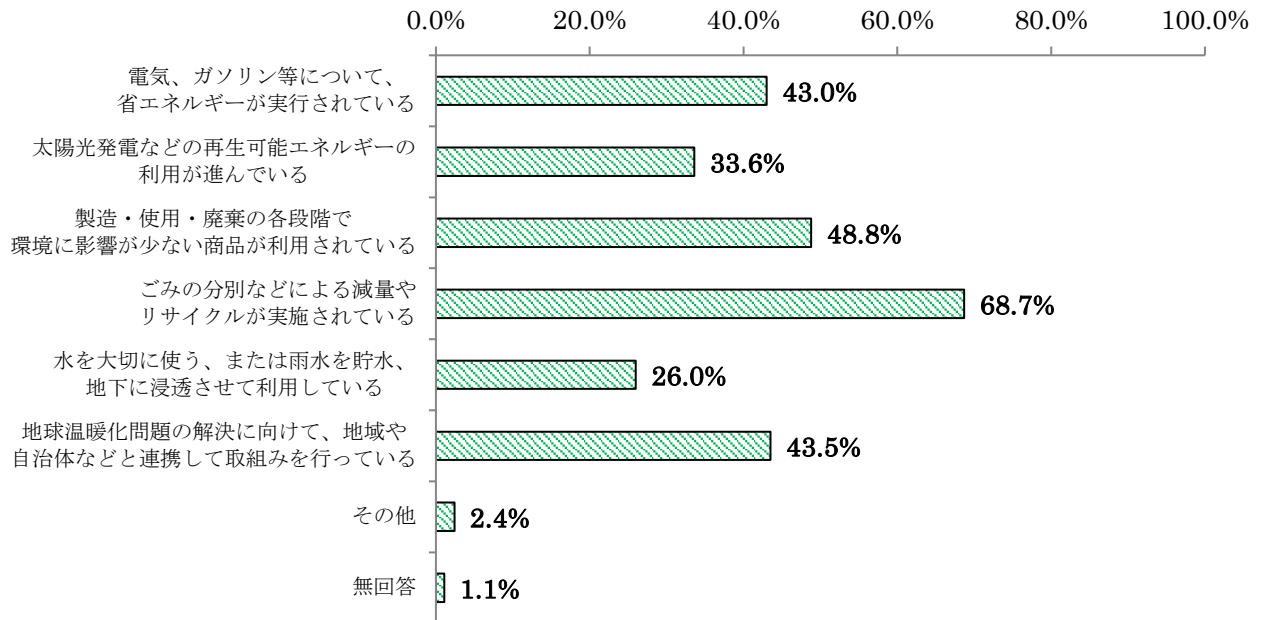
問 9-1 「環境について学び、みんなで実践するまち」であるために重要なこと

「学校や地域において環境教育が行われている」と回答した人が、72.2%と最も多くなっています。次いで、「市民、市民団体、事業者及び市等、さまざまな主体が連携している」が、45.9%、「地域における環境保全活動の拠点が整備されている」が、43.9%となっています。



問 9-2 「資源やエネルギーを大切にし、地域から行動するまち」であるために重要なこと

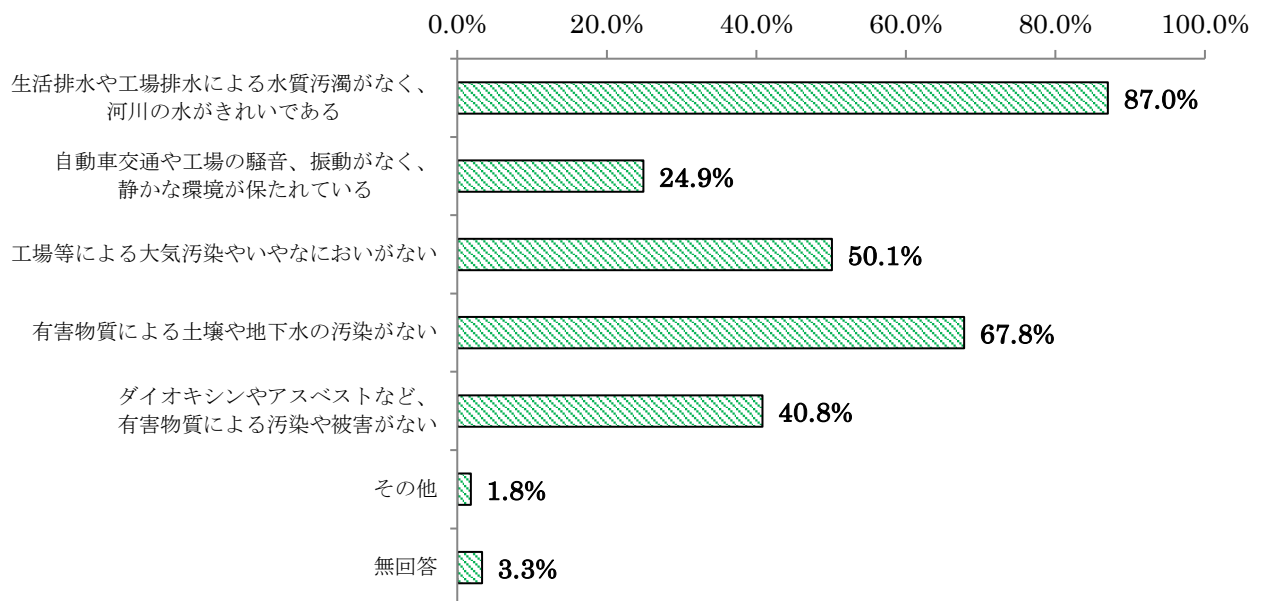
「ごみの分別などによる減量やリサイクルが実施されている」と回答した人が 68.7%と最も多くなっています。次いで、「製造・使用・廃棄の各段階で環境に影響が少ない商品が利用されている」が 48.8%、「地球温暖化問題の解決に向けて、地域や自治体などと連携して取組みを行っている」が 43.5%となっています。



問 9-3 「良好な水や大気を守り、健康で安心して暮らせるまち」であるために重要なこと

「生活排水や工場排水による水質汚濁がなく、河川の水がきれいである」と回答した人が、87.0%と最も多くなっています。

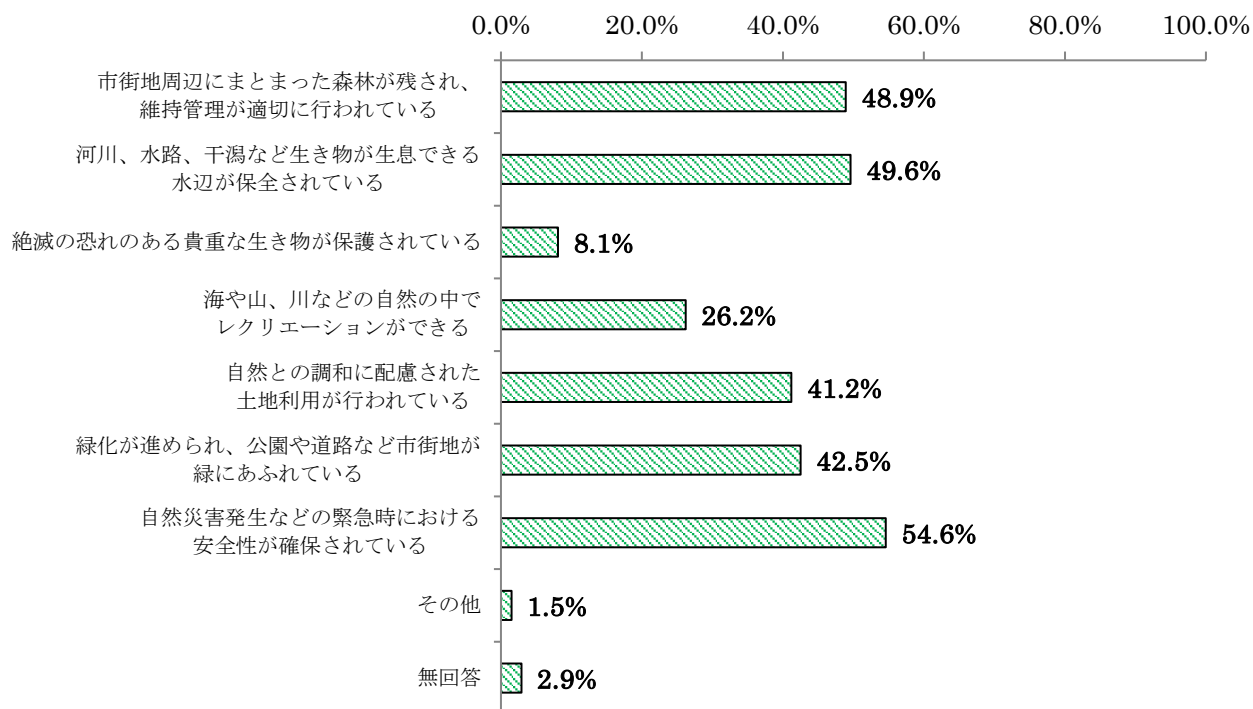
次いで、「有害物質による土壌や地下水の汚染がない」が、67.8%、「工場等による大気汚染やいやなにおいがいい」が、50.1%となっています。



問 9-4 「人と自然がふれあい、安らぎを感じるまち」であるために重要なこと

「自然災害発生などの緊急時における安全性が確保されている」と回答した人が、54.6%と最も多くなっています。

次いで、「河川、水路、干潟など生き物が生息できる水辺が保全されている」が、49.6%、「市街地周辺にまとまった森林が残され、維持管理が適切に行われている」が、48.9%となっています。



地域の環境について

問 11 地域の環境の現状の満足度と今後の重要度

① 現状の満足度

満足度は「空気のきれいさ」、「水（水道、簡易水道など）のおいしさ」、「家の周りの静けさ」などが高く、「イベントや取組みなど環境情報の入手状況」、「環境教育・環境学習の状況」、「希少な野生生物の保護状況」などで低い結果となっています。

順位	取り組み項目	満足度
1	3.空気のきれいさ	3.04
2	6.水（水道、簡易水道など）のおいしさ	2.98
3	5.家の周りの静けさ	2.93
4	7.身近な緑の多さ	2.93
5	4.いやなにおいの少なさ	2.81
6	9.水と緑に囲まれた自然景観の保全	2.57
7	19.家庭からのごみの分別や出し方のマナー	2.53
8	1.川や水路の水のきれいさ	2.41
9	10.水や緑など自然に親しめる場の整備	2.34
10	11.地産地消（地場農産物の消費）の仕組み	2.29
11	17.家庭での省エネルギーへの取組み	2.14
12	2.家庭や事業所からの汚水処理の状況	2.12
13	8.水辺や野山の生き物の生息状況	2.07
14	13.歩道・自転車道の整備	1.85
15	16.自然災害に対する安全性	1.76
16	14.交通機関の利便性	1.74
17	23.地域の美化などの環境保全活動の状況	1.67
18	15.廃棄物の不法投棄対策の状況	1.61
19	20.市民一人ひとりの環境に対する意識	1.61
20	18.太陽光発電など再生可能エネルギーの導入	1.52
21	22.イベントや取組みなど環境情報の入手状況	1.50
22	21.環境教育・環境学習の状況	1.44
23	12.希少な野生生物の保護状況	1.42

※網掛けは平均値 2.14 以上であり、満足度が高い項目であることを示す。

② 今後の重要度

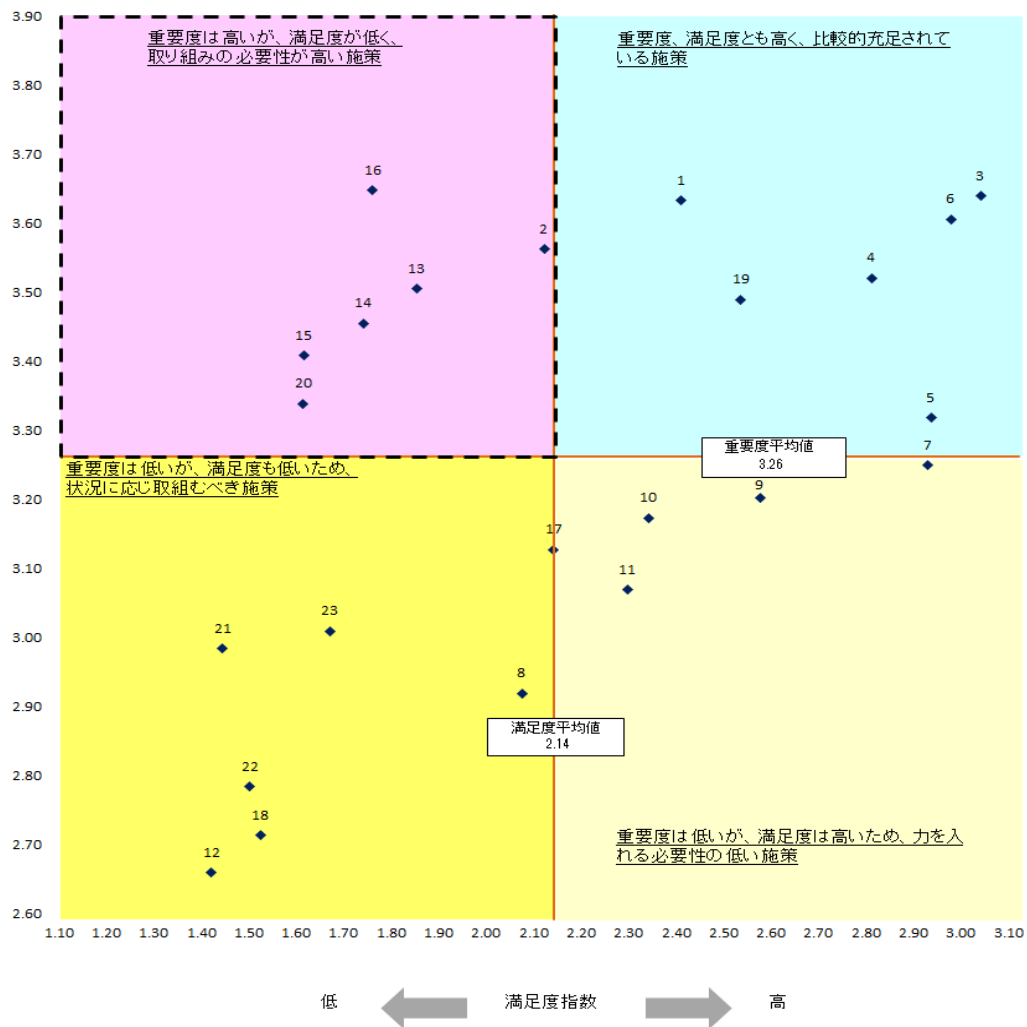
重要度は「自然災害に対する安全性」、「空気のきれいさ」、「川や水路の水のきれいさ」などが高く、「イベントや取組みなど環境情報の入手状況」、「太陽光発電など再生可能エネルギーの導入」、「希少な野生生物の保護状況」などで低い結果となっています。

順位	取り組み項目	重要度
1	16.自然災害に対する安全性	3.65
2	3.空気のきれいさ	3.64
3	1.川や水路の水のきれいさ	3.63
4	6.水（水道、簡易水道など）のおいしさ	3.61
5	2.家庭や事業所からの汚水処理の状況	3.56
6	4.いやなにおいの少なさ	3.52
7	13.歩道・自転車道の整備	3.50
8	19.家庭からのごみの分別や出し方のマナー	3.49
9	14.交通機関の利便性	3.46
10	15.廃棄物の不法投棄対策の状況	3.41
11	20.市民一人ひとりの環境に対する意識	3.34
12	5.家の周りの静けさ	3.32
13	7.身近な緑の多さ	3.25
14	9.水と緑に囲まれた自然景観の保全	3.20
15	10.水や緑など自然に親しめる場の整備	3.17
16	17.家庭での省エネルギーへの取組み	3.13
17	11.地産地消（地場農産物の消費）の仕組み	3.07
18	23.地域の美化などの環境保全活動の状況	3.01
19	21.環境教育・環境学習の状況	2.98
20	8.水辺や野山の生き物の生息状況	2.92
21	22.イベントや取組みなど環境情報の入手状況	2.78
22	18.太陽光発電など再生可能エネルギーの導入	2.71
23	12.希少な野生生物の保護状況	2.66

※網掛けは平均値 3.26 以上であり、重要度が高い項目であることを示す。

③ 満足度と重要度

重要度は高いが、満足度が低く、取組みの必要性が高い施策として、以下に示す6項目が抽出されています。

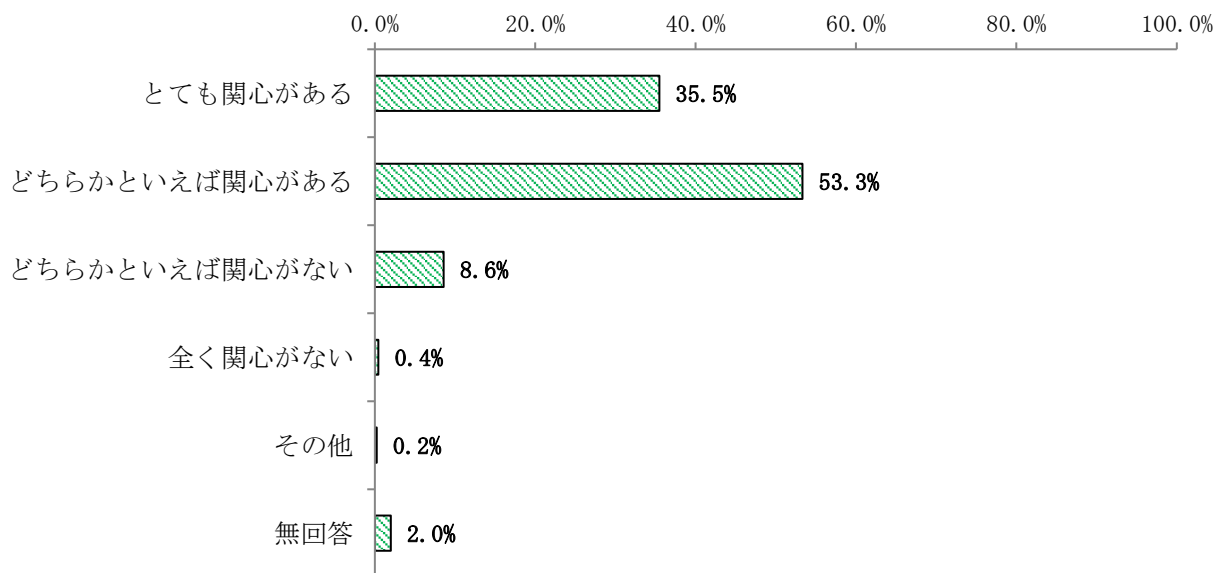


1. 川や水路の水のきれいさ
2. 家庭や事業所からの汚水処理の状況
3. 空気のきれいさ
4. いやなにおいの少なさ
5. 家の周りの静けさ
6. 水（水道、簡易水道など）のおいしさ
7. 身近な緑の多さ
8. 水辺や野山の生き物の生息状況
9. 水と緑に囲まれた自然景観の保全
10. 水や緑など自然に親しめる場の整備
11. 地産地消（地場農産物の消費）の仕組み
12. 希少な野生生物の保護状況
13. 歩道・自転車道の整備
14. 交通機関の利便性
15. 廃棄物の不法投棄対策の状況
16. 自然災害に対する安全性
17. 家庭での省エネルギーへの取組み
18. 太陽光発電など再生可能エネルギーの導入
19. 家庭からのごみの分別や出し方のマナー
20. 市民一人ひとりの環境に対する意識
21. 環境教育・環境学習の状況
22. イベントや取組みなど環境情報の入手状況
23. 地域の美化などの環境保全活動の状況

環境保全、地球温暖化に対する取組みについて

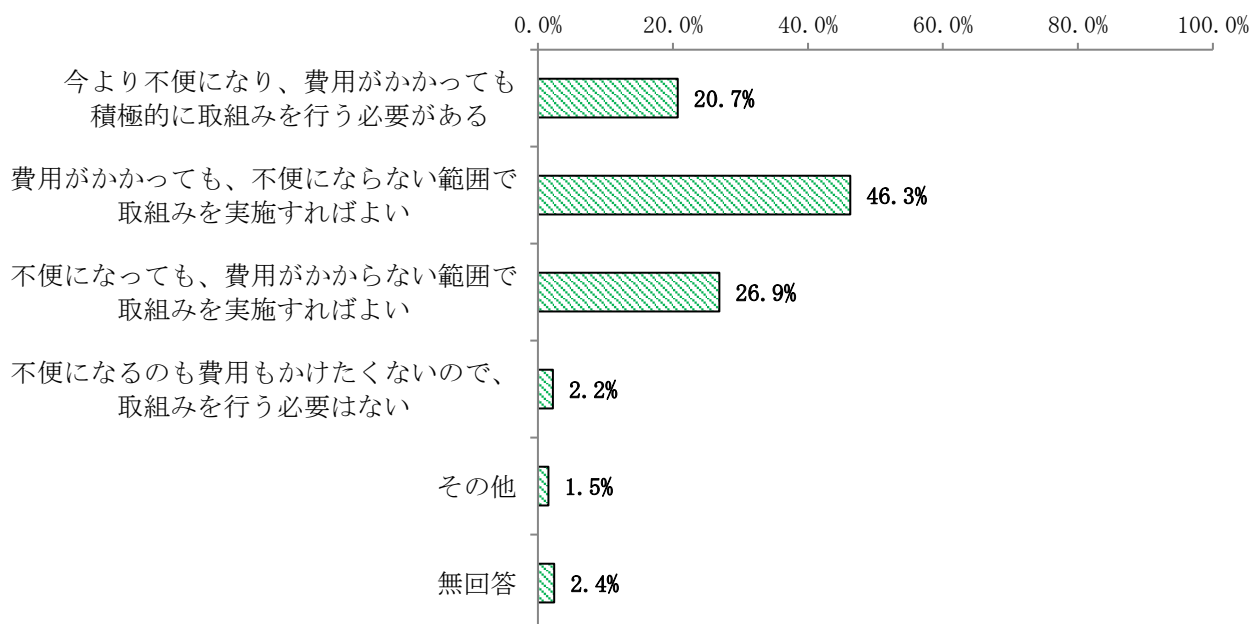
問 12 地球温暖化問題についての関心

地球温暖化に関する関心は「どちらかといえば関心がある」と回答した人が 53.3%と最も多く、次いで、「とても関心がある」と回答した人が、35.5%でした。



問 13 日常生活での地球温暖化防止の取組みについて

日常生活での地球温暖化防止の取組みについては、「費用がかかっても、不便にならない範囲で取組みを実施すればよい」と回答した人が 46.3%と最も多くなっています。次いで、「不便になっても、費用がかからない範囲で取組みを実施すればよい」と回答した人が 26.9%となっています。

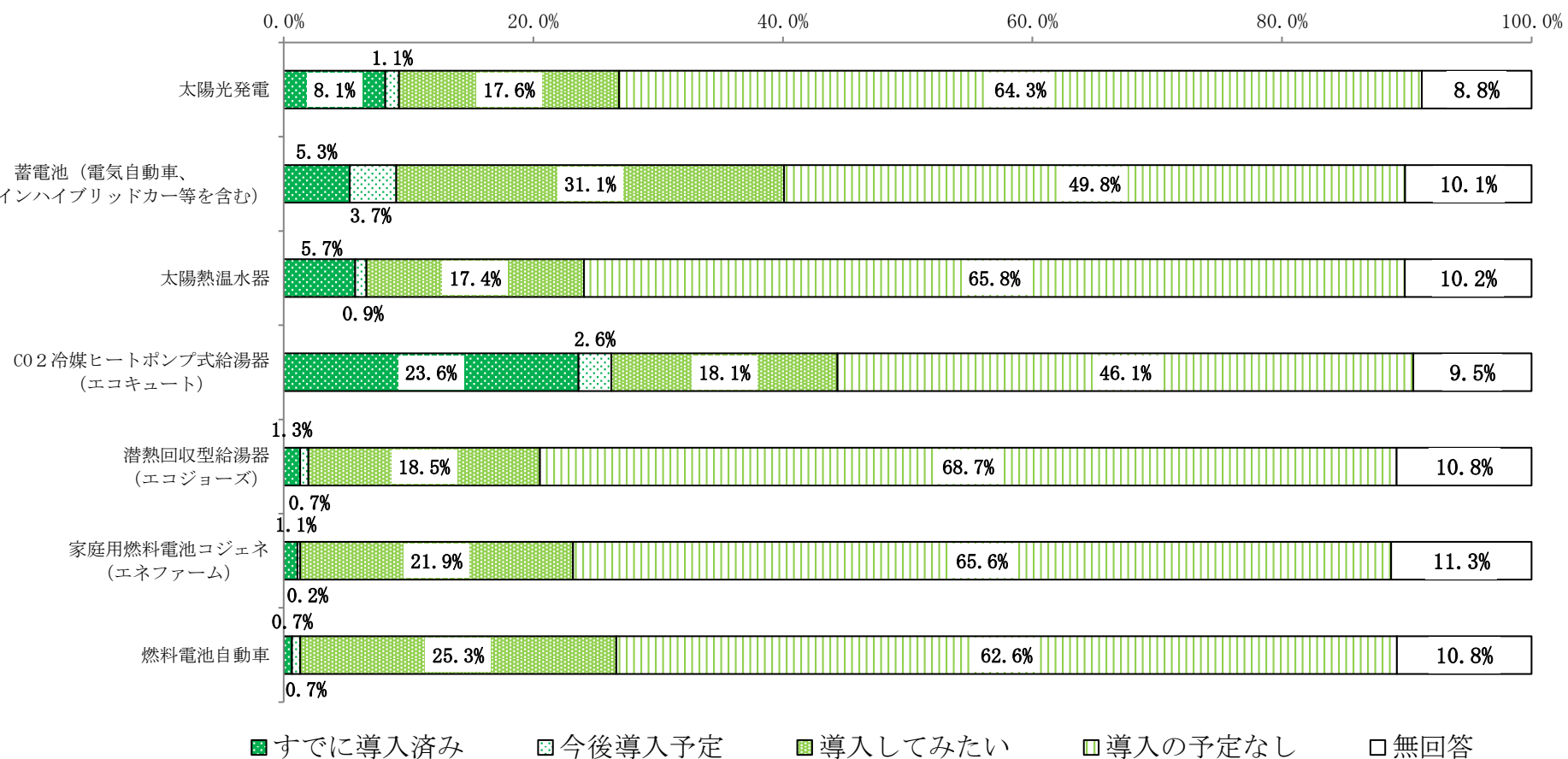


問 14 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備の導入について

①設備の導入

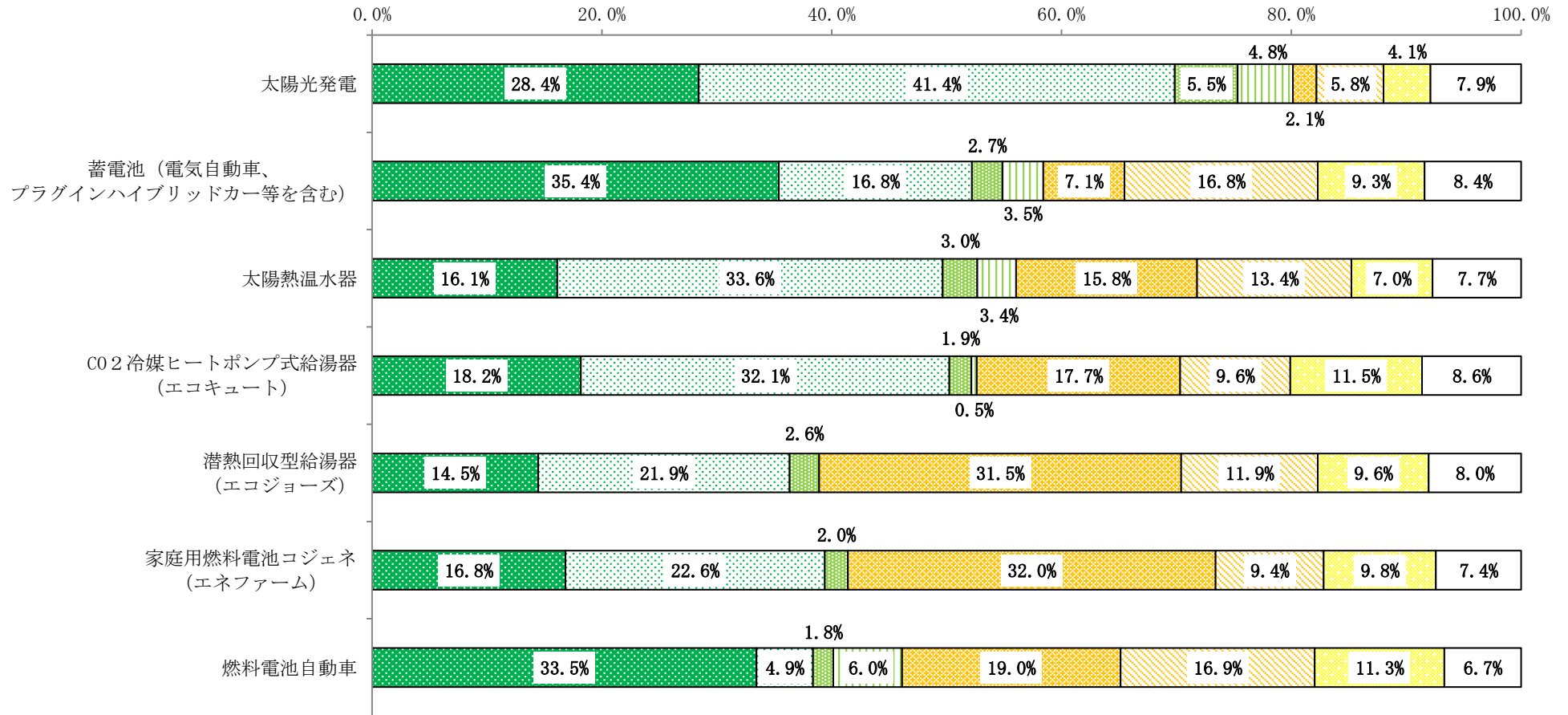
省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備の導入について、「すでに導入済み」と回答した人が多いのは、「CO₂冷媒ヒートポンプ式給湯器（エコキュート）」で23.6%、次いで、「太陽光発電」の8.1%となっています。

また、「導入の予定なし」と回答した人が多いのは「潜熱回収型給湯器（エコジョーズ）」で68.7%、次いで「太陽熱温水器」が65.8%となっています。



② 省エネルギーや再生可能エネルギーに関する設備の導入で「導入の予定なし」と回答した理由について

各設備の「導入の予定なし」と回答した理由については、「費用負担が大きい」、「現在の住宅には導入できない」が比較的多くなっています。

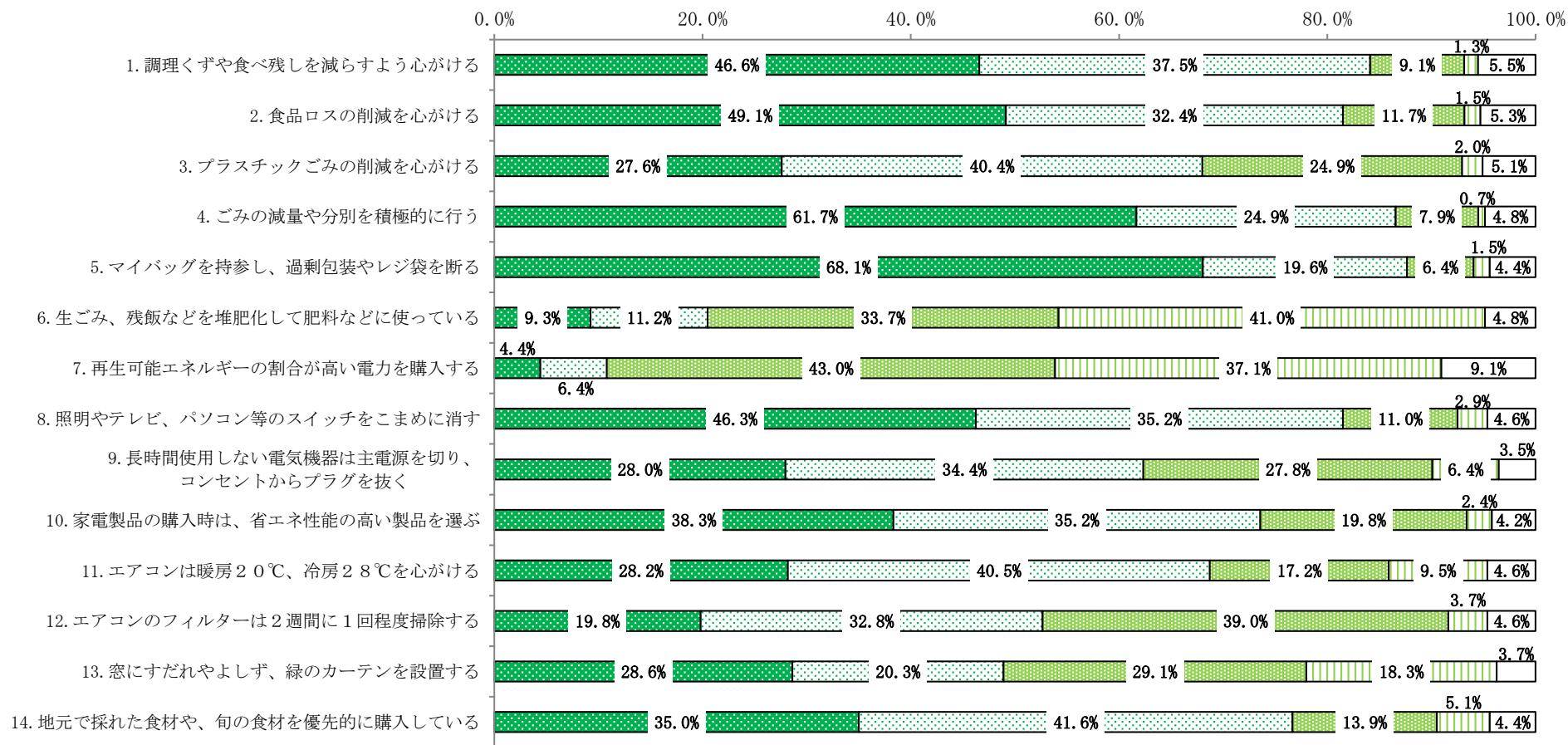


- 費用負担が大きい
- 現在の住宅には導入できない
- 効果があるか疑問がある
- 機器の性能に不安がある
- 情報がない (よく知らない)
- 必要性を感じない
- 特に理由はない
- 無回答

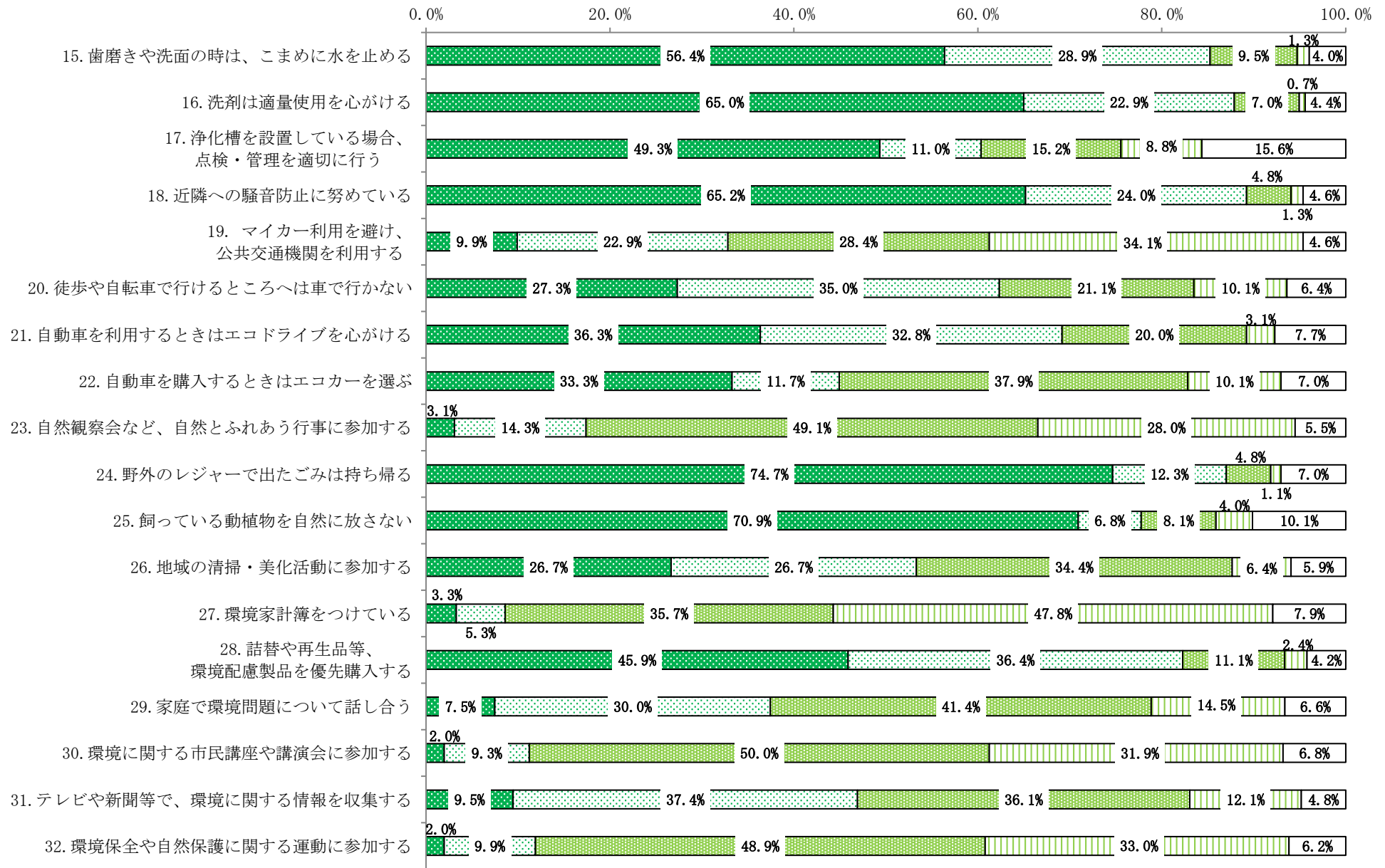
問 15 生活の中で環境のために取り組んでいること

生活の中で環境のために取り組んでいることで、「常に実行している」と回答した人が多いのは、「野外のレジャー（山や海、川等）で出たごみは持ち帰る」が74.7%であり、次いで、「飼っている動植物を自然に放さない」が、70.9%となっています。

また、「実行するつもりはない」と回答した人が多いのは、「環境家計簿をつけている」が47.8%であり、次いで、「生ごみ、残飯などを堆肥化して肥料などに使っている」が41.0%となっています。



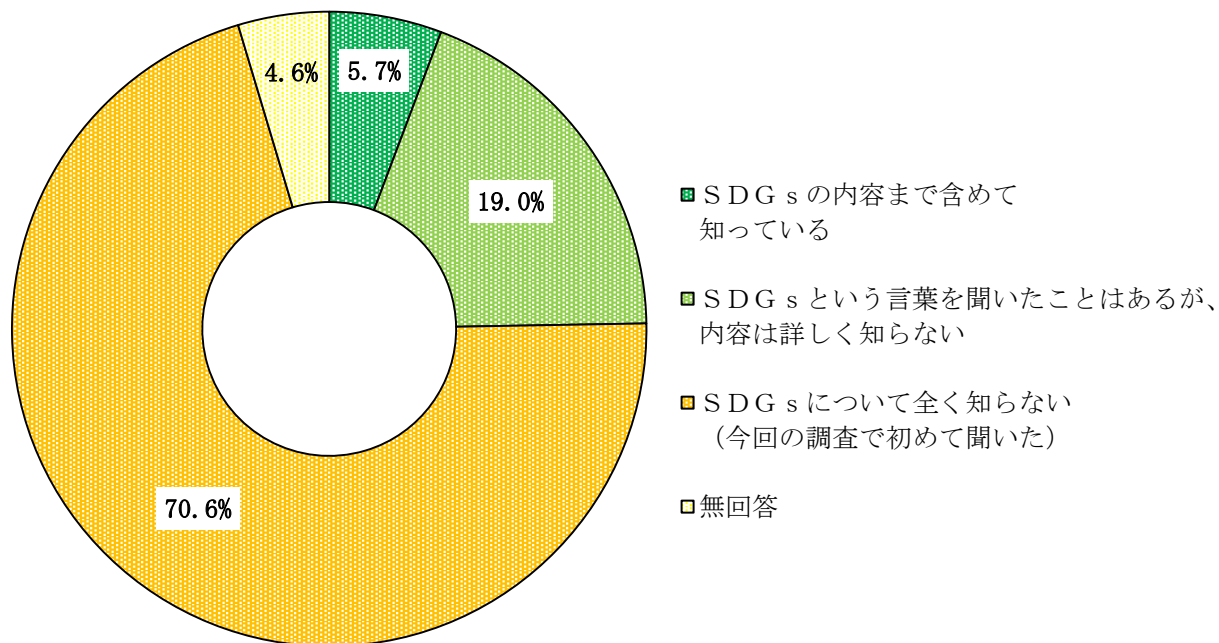
■常に実行している □時々実行している ■今後実行したい □実行するつもりはない □無回答



常に実行している
 時々実行している
 今後実行したい
 実行するつもりはない
 無回答

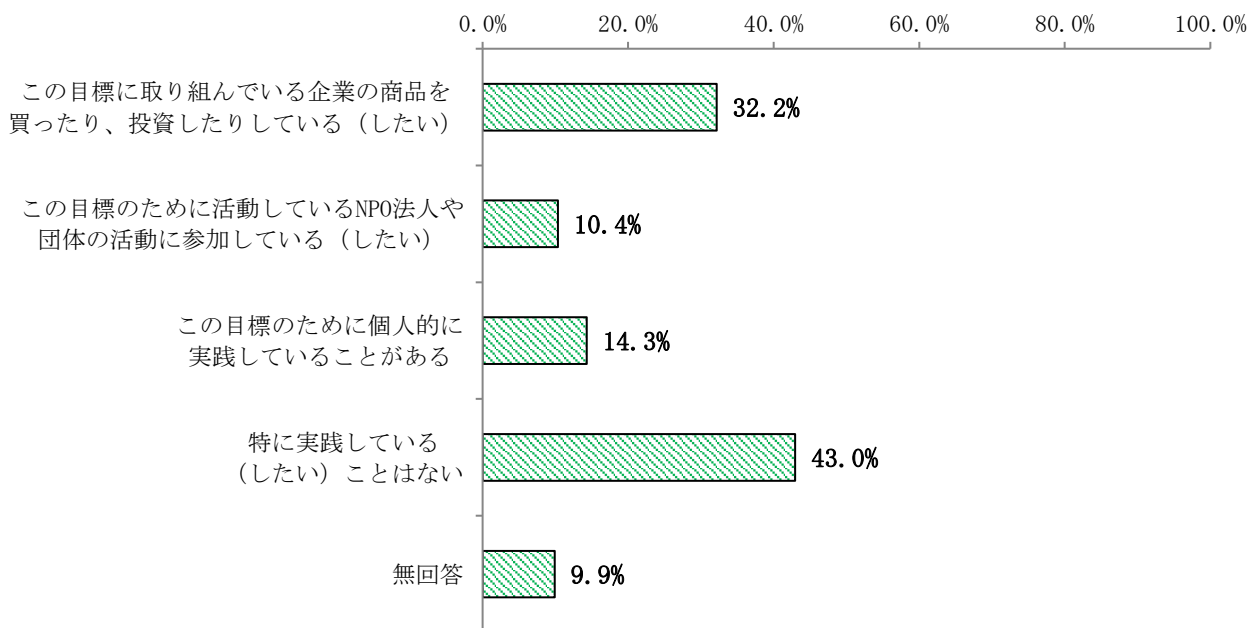
問 16 「SDGs：持続可能な開発目標」という言葉を知っているかについて

「SDGs について全く知らない（今回の調査で初めて聞いた）」と回答した人が 70.6%と最も多く、次いで、「SDGs という言葉を聞いたことはあるが、内容は詳しく知らない」が 19.0%となっています。また、最も回答者が少ないのは、「SDGs の内容まで含めて知っている」で 5.7%となっています。



問 17 SDGs の 17 個の目標の中であなたの考えや行いに近いものについて

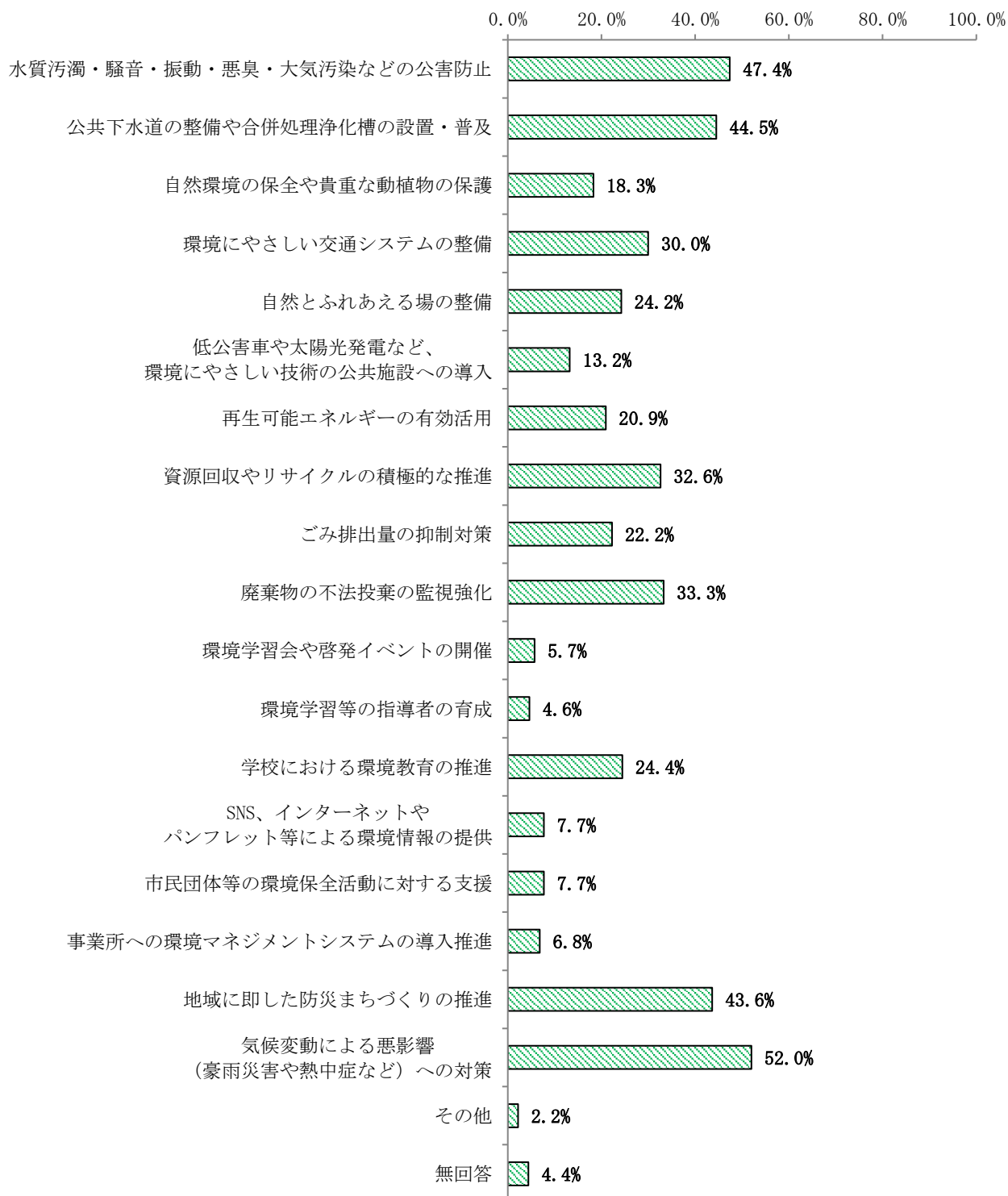
「特に実践している（したい）ことはない」と回答した人が 43.0%と最も多く、次いで、「この目標に取り組んでいる企業の商品を買ったり、投資したりしている（したい）」で 32.2%となっています。



徳島市の役割について

問 18 徳島市が積極的に取り組むべき問題について

徳島市が積極的に取り組むべき問題については、「気候変動による悪影響（豪雨災害や熱中症など）への対策」と回答した人が 52.0%と最も多く、次いで、「水質汚濁・騒音・振動・悪臭・大気汚染などの公害防止」で 47.4%となっています。



市民アンケート自由意見（抜粋）

1 環境意識について

- 市民がよく訪れる商業施設と連携するなどして、環境について考える機会が増えたら、もう少し環境意識を高く持つことができると思う。（女性、20代、加茂）
- 環境政策は永続的な関わりが必要。県内で他市町村の取り組んでいるものをすみやかにとり入れるなど、目先の利益にとらわれない取り組みが必要。（男性、50代、加茂）
- 徳島市のさまざまな施策や、国際的な取り組み等により、市民の意識もかなり変わってきたと思う。特に、学校での環境学習は非常に効果があったのではないか。環境学習の推進は今まで以上に必要だと思う。（女性、60代、北井上）
- 市民が環境問題を重大ととらえていない。エシカルってなんですか、という人が多い。町内会等で、消費者教育の勉強会をすればいいと思う。（男性、70代以上、八万）

2 ごみ問題について

- プラスチックごみ削減の一環として、レジ袋が有料化したことは本当にいいことだが、陳列されている商品の包装物など、まだまだプラスチックごみが多い。時代の流れと言えばそれまでだが、とにかく包装しすぎだと思う。毎日の暮らしの中で、一個人（市民）として環境行政に協力していこうと思っている。（女性、70代以上、川内）
- ごみの抑制がもっと徹底されるように、他自治体で実践している有効な施策をもっと積極的に取り入れるべき。（女性、40代、津田）
- プラスチックごみを減らすため、プラスチックごみ減量先進国の調査、プラスチック代替容器の導入等、国レベルでの減量化への働きかけを行う必要がある。（男性、60代、沖洲）
- プラごみを分別しているが、実際どのように再生されたのか、されているのか情報がない。周知していくことで、環境意識が高まるのではないかと思う。（女性、40代、上八万）

3 災害について

- 災害に対する市民の意識、防災対策の充実を望む。（男性、20代、国府）
- 自然災害による浸水対策として、排水ポンプ等の充実をしてほしい。（女性、60代、八万）

- 近い将来南海トラフ地震が予想されている。徳島県や市で行う公的な対策と共に、個人でできる対策などをアナウンスしてほしい。(女性、50代、東富田)
- 台風や地震、洪水などの異常気象に対する対策を具体的に進めてほしい。予防だけでなく、発生した時の対策も考えてもらいたい。(女性、70代以上、加茂名)
- 河川の氾濫への対策が必要だと思う。親子で参加できる環境学習会や、個人でできる災害対策を広報するなどの取り組みを増やせば、市民の意識向上に繋がると思う。(女性、40代、勝占)
- 道路や側溝や污水处理施設など、災害時に強いまちづくりをしてほしい。

4 生活環境について

- 下水道の整備を早急にしてほしい。悪臭がなくなって住環境が向上したり、豪雨の際などスムーズに排水でき、浸水被害も防止できると思う。(女性、40代、上八万)
- 地下水を飲料用として使用しており、とてもおいしい。いつまでも飲み続けられるよう、水環境の保全をしてほしい。(女性、50代、多家良)
- 川が自慢の徳島市だが、小さな川はまだ整備がされていない。台風や大雨のあと、何が流れているのか、水底に汚泥が溜ってないか等の点検してほしい。(男性、70代以上、佐古)
- 第一種住宅地域であるが、深夜まで事業活動し、自動車の出入りが多く、騒音が気になる。(男性、70代以上、八万)
- 公害や環境被害者の方に温かいまちであってほしい。

5 地球温暖化について

- 温暖化による気候の変動で、特に恐いのは水害だと思う。徳島市内は川が多いので、集中豪雨があった場合にどうなるか、シミュレーションをしてほしい。(女性、50代、佐古)
- 地球温暖化に伴う大型台風や豪雨災害に対してのインフラ整備も、環境行政に大きく関連するものである。側溝のドブさらいなど、お年寄りが多い地域では町内会や自治会が機能しておらず、困っている。どこに頼ればよいかわからない。(女性、40代、津田)
- 地球温暖化が急速に進んでいると、最近の異常気象等で感じることもあり、将来に対する不安が増している。これらの問題を、各々の利害関係に関わらずに議論できる場が必要である。(男性、50代、加茂名)

6 環境教育について

- 市民一人ひとりが、考えて、実行していかなければ「住みよいまち」にならないので、考える場・機会を作してほしい。(女性、40代、上八万)
- 環境啓発イベントなどをしていても知らないと参加できないので、多くの人に伝わる方法を考えたらよいと思う。(女性、30代、渭東)
- 小・中学校での教育の中で環境教育について取り組み、常識として身につけるように取り組んでほしい。(女性、60代、勝占)
- 小中学校の公社などの施設設備等も、子どもを取り巻く環境として捉えて、整備をしてほしい。(女性、60代、沖洲)
- 環境に詳しい研究者や指導者を育成してほしい。

7 交通について

- 交通機関の利便性を見直してほしい。また、歩道や自転車道の整備、点検をしてほしい。(男性、40代、上八万)
- 先日、バスをふと見たら、誰も乗車していなかった。高齢者ドライバーの事なども考えて、公共交通機関などを便利に使えるシステムを、全国モデルになるように考えていけば良いと思う。(男性、40代、国府)
- 自転車で移動をすることがあるが、自転車道の整備がすすんでいないと感じる。公共交通機関の利用も不便であるため、自転車道の整備がすすめばよいと思う。(女性、40代、加茂)
- 車社会の徳島だが、駅前の整備や公共交通機関の整備等、車の利用を減らせるような取り組みがあれば、積極的に参加していきたい。(女性、40代、渭北)
- 自動車運転マナーの向上、公共交通機関の利用の促進。皆がマナーを守ることで渋滞緩和でき、環境保全につながる。また、不要不急のマイカー利用をしない。徒歩や公共交通機関の利用を促進することで、将来にわたって住み続けられるまちを目指してほしい。(女性、40代、上八万)

8 その他

- 徳島市は、自然豊かで緑が多く、とてもよい環境だと思っている。このまちをこれからも守りつつ、人間が暮らしやすい便利な町であってほしいと願っている。(女性、60代、多家良)
- 住宅地の中の公園が少ないように思う。もう少し増やして、子どもが安心して遊べる所、大人が憩える場を作してほしい。(女性、60代、東富田)
- 自然と人と動物が共生していくことが大事だと思う。徳島市は山や海がある自然豊かな所である。この環境を残したいと思う。(女性、50代、国府)
- 貧困をなくし、すべての人々が健康で平等に暮らしていけるまちづくりをしてほしい。
- 外灯を増やしてほしい。(女性、30代、加茂)